

都道府県金融広報委員会の活動紹介

豊かな暮らしのお手伝いを

愛知県金融広報委員会

当委員会は、愛知県県民生活部県民生活課に事務局を置き、愛知県、東海財務局、日本銀行名古屋支店が中心となって、金融知識の普及・啓発に努めています。

一般消費者に対しては講演会の開催、地域で開催される学習会への講師派遣、児童生徒に対しては研

究校等において金融・金銭教育の実践を行っています。

昨年度は、講師に辛坊治郎さんをお迎えして、「情報の正しい判断」報道現場から」をテーマに約850名の一般消費者を対象に講演会を開催しました。

また、各地域での学習会等へは金融広報アドバイザーを派遣し、延べ約1,200名の方々が金融について学びました。

金融・金銭教育研究校では、現場の先生方に金融・金銭教育を実践していただき、その模様を保護者、

教職員、地域の方々に対して公開し、また講師にあんびるえつこさん、いちのせかつみさんをお迎えし、金融教育が必要な理由などをわかりやすくお話いただきました。

今年度は、子どもから大人まで一緒に金融について学べる場として、12月に『金融教育フェスティバル』の開催や金融・金銭教育研究校において公開授業、講演会を計画しています。今後とも、金融経済情報の提供、金融教育の推進に力を注ぎ、みなさまがより豊かな暮らしを實踐できるようお手伝いしていきたいと思ひます。

より多くの方々に金融・経済情報の提供を

佐賀県金融広報委員会

当委員会は、佐賀県くらし環境本部くらしの安全安心課に事務局を置き、日本銀行佐賀事務所及び福岡財務支局佐賀財務事務所と連携して金融・経済に関する情報提供を中心に広報、実践活動を展開しています。

平成20年度に当委員会が実施し

た活動のひとつ、「親子で学ぼう！金銭教育」をご紹介します。親子でお金と上手く付き合う方法を学んでもらい、金銭教育実践へのきっかけにしておくと講演会及び4種類のワークショップを開催しました。講演はあんびるえつこ先生をお招きし、「お金のしつけく子どものお金教育を考える」をテーマに、『欲しいもの』と『必要なもの』の違いについてお話していただきました。ワークショップは①定額のおこづかいを教材に親子で遊びながら考えてお金を使う「おこづかいゲーム」、②おこ

づかいで何を買ったか記録をつける習慣を養う「おこづかい帳作り」、③様々なお金の問題にチャレンジする「クイズ！お金なんでも博士」、④不要になったオモチャを持ち寄りそのポイントで買い物を体験する「かえつこバザール」(写真参照)を実施しました。会場は終日子どもたちのはしゃぎ声で賑わい、参加した保護者の方からも「お金について考える良いきっかけになった」、「かえつこバザールは環境にもやさしい取り組み。また参加したい」などと好評でした。今後も様々なイベント等を通して、より多くの方々に金融・経済に関する情報提供を続けていきたいと思ひます。

